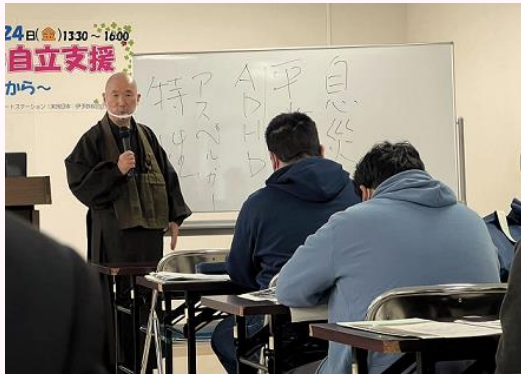


の拠点づくりの苦労や若者各々の持つ“特性”を伸ばすことの大切さなど、経験と実績に基づいた心惹かれるお話を聞かせていただきました。



① トークセッション「困難を抱える若者の支援について」

公益財団法人 喝破道場 野田 大燈 理事長

東予若者サポートステーション 濱田 紀明 所長

特定非営利活動法人 e ワーク愛媛 難波江 任

トークセッションでは、前出の喝破道場 理事長の野田大燈氏と東予若者サポートステーション所長の濱田紀明氏、e ワーク愛媛 難波江任、が、「困難を抱える若者の自立支援」について事例を説明し、会場も交えて意見交換を行いました。

参加者からは、若者達が自立するためにはどのような支援が必要か、若者支援の現状や課題などについて質問があり、有意義な議論が行われました。

また、若者の自立支援に農業を取り入れることの効果について、野田氏が実際行っている事業からの見解や、難波江が調査した結果などについて説明しました。

会場の参加者からも、具体的な困りごとの事例に基づいてアドバイスを求める声や支援事例とその効果に関する質問など、活発な意見のやり取りがありました。



本講演会を通して、若者達が自立するためには、自分自身を知り、自分の能力を信じて一歩踏み出す勇気が必要であることが再認識できました。また、農業やハーブの栽培などの活動、移動販売などの農業体験、職業体験を通じて、若者達が体を動かすことや人との支え合いを大切にすることが、自立への道を開く一つの手段であることも示されました。